

令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	非公募	
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	37,033,022円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室1、和室1、和室2、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室1、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

(1)岐阜市北青少年会館		R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数(単位:人)		11,831	11,766	11,773	12,735	12,188
各室稼働状況(%)	研修室1	34.5	37.3	29.8	31.6	22.8
	研修室2	20.5	17.3	19.3	20.2	13.2
	講義室	47.2	48.7	45.9	43.0	42.1
	体育室	82.3	87.0	85.0	86.4	78.6
	屋外コート	45.6	48.7	44.9	40.4	33.4
(2)岐阜市青山青少年会館		R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数(単位:人)		11,629	8,486	11,088	7,164	10,007
各室稼働状況(%)	会議室1	18.0	20.6	14.6	16.8	7.3
	和室1	18.0	17.5	21.2	9.3	4.9
	和室2	28.2	25.1	28.3	13.0	13.4
	体育室	76.9	61.3	69.5	67.7	68.3
	屋外コート	2.2	1.9	9.5	9.4	22.9
(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム		R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数(単位:人)		8,866	10,391	8,903	8,505	8,529
各室稼働状況(%)	研修室1	53.9	65.5	57.3	47.2	49.3
	料理実習室	12.3	15.5	10.5	8.2	24.8
	体育室	72.0	71.8	65.3	74.2	72.4
(4)岐阜市東青少年会館		R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数(単位:人)		9,203	9,397	9,530	9,626	8,137
各室稼働状況(%)	研修室1	63.1	55.6	63.1	56.5	53.4
	研修室2	63.9	57.5	64.7	58.5	58.4
	談話室	77.2	71.8	70.6	71.6	70.6
		R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数合計(単位:人)		41,529	40,040	41,294	38,030	38,861

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 嘱託職員 4人 臨時職員 12人（全16人のうち教員資格保有者 12人） ③広報ぎふ、館内掲示、チラシ、ホームページ、SNS等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況:利用者数 41,529人 (前年度同期 41,294人) 利用団体数 2,669団体 (前年度同期 2,622団体) ・子ども会サポートプラン 上半期相談件数:52件(活動実施数 18件 497人) (相談件数 3件減 活動実施件数 同件 5人増) ②講座事業 ・夏期少年講座:41講座開催 参加者 延べ927人 (定員 791人 応募者 951人) ・青年講座:2講座開催 参加者 延べ10人 ※自主事業 ・春講座:12講座開催 参加者 193人 (定員 147人 応募者 259人) ・親子わくわく講座:21講座開催 参加者 154家族314人 (定員 205家族410人 応募者 325家族650人) ・岐阜キラメキ講座:20講座開催 参加者 334人 (定員 400人 応募者 559人) 講座事業総計:96講座 参加者 1,778人(7講座182人増) (定員 1,780人 応募者 2,429人) ③相談事業 ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 上半期相談件数: 122件(30件増) ④学習拠点支援事業 ・小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 上半期利用者数: 3,024人(77人減) ・サタデースクール(東青) 上半期利用者数:173人(34人増) ・サマースクール(ルーム) 5日間 46人

<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②警備業務</p> <p>③ねずみ、害虫等の防除等</p>	<p>①日常清掃：臨時職員による清掃を期間中日常的に実施。 定期清掃：再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。</p> <p>②職員による日常点検：開館日に職員が出勤時と退勤時に安全点検を実施。 機械警備：再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。</p> <p>③敷地内の樹木剪定を職員で行う。 害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。</p> <p>その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。</p>						
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。 ・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。 <p>修繕実績(業者による対応)</p> <table border="0"> <tr> <td>北青少年会館</td> <td>消防設備取替修繕</td> <td>31,320円</td> </tr> <tr> <td>東青少年会館</td> <td>間仕切りスライディングドア修繕</td> <td>16,200円</td> </tr> </table> <p>全2件実施</p> <p>○職員による主な修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育室床ワックスがけ(北青・青山・ルーム) ・施設内樹木・植栽の剪定、除草(北青・青山・ルーム) ・臨時駐車場除草(北青) ・テニスコート整備(北青) ・男子小便器フラッシュバルブ取替(ルーム) ・駐車場整地(青山) ・駐輪場床面再塗装(北青) ・駐車場修繕(北青) ほか 	北青少年会館	消防設備取替修繕	31,320円	東青少年会館	間仕切りスライディングドア修繕	16,200円
北青少年会館	消防設備取替修繕	31,320円						
東青少年会館	間仕切りスライディングドア修繕	16,200円						
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施 ・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定 ・個人情報保護担当者を配置 ・「個人情報保護宣言」表示を継続 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「応急手当協力事業所」の登録 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) ・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。 						

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体(代表者)に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>③「ご意見箱」の設置と「あと一声運動」による聞き取り調査を継続。(対象:施設利用者)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」2,281件 初め:38件 1.7% 複数回:2,281件 98.3% 「全体の満足度について」2,252件 大変満足:68.2% 満足:30.7% 普通:1.1% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (98.9%) 「施設設備について」2,235件 大変満足:68.0% 満足:30.1% 普通:1.9% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (98.1%) 「職員の対応について」2,254件 大変満足:71.2% 満足:27.8% 普通:1.0% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (99.0%) 【主な意見】 「いつも気持ちよく利用しています。ありがとう。」(4館 同様の声多数) 「部屋が暑かったけど、扇風機を用意していただけて助かりました。」(北青) 「駐車場が停めやすくなりました。」(北青) 「駐輪場のラインが新しくなっていて停めやすくなった。」(北青) 「スリッパがきれいになっていました。気持ちよく利用できました」(東青) 「体育館の床が滑らないよう、こまめに清掃してくれてありがとうございます。」(ルーム) その他感謝の声多数</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しなかった・⑤全然楽しなかった)</p> <p>■夏期講座: ◆少年講座 「講座は楽しかったか」初めて参加:253件 ①:77% ②:19% ③:4% ④:0% ⑤:0% (96%) 複数回参加:468件 ①:78% ②:18% ③:4% ④:0% ⑤:0% (96%) ◆岐阜キラメキ講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」初めて参加:94件 ①:86% ②:10% ③:4% ④:0% ⑤:0% (96%) 複数回参加:228件 ①:84% ②:13% ③:3% ④:0% ⑤:0% (97%) ◆親子わくわく講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」初めて参加:53件 ①:89% ②:9% ③:2% ④:0% ⑤:0% (98%) 複数回参加:158件 ①:83% ②:14% ③:2% ④:1% ⑤:0% (97%) 【主な意見】 「いろいろな体験ができて想像以上の楽しさだった。」(北青:素焼きの風鈴にお絵かき) 「家で子どもと一緒に作れるメニューで、夏休みに作ろうと思います。」(東青:親子わくわくクッキング) 「初めてラジオを作ることができた。電波についても知ることができて楽しかった。」(青山:電波教室) 「友達と遊ぶ約束をしていたけど、とっても楽しかった。嫌いな算数が楽しくできた。」(ルーム:サンデーおもしろ教室算数)</p> <p>■春講座(自主事業): 「講座は楽しかったか」初めて参加:57件 ①:86% ②:14% ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%) 複数回参加:111件 ①:85% ②:13% ③:2% ④:0% ⑤:0% (98%) 【主な意見】 「丁寧に教えてくれたし、仲間と楽しくできたのでうれしかった。」(北青:スポーツチャンバラ) 「大きくてかわいいストラップを作ることができた。大事にします。」(東青:大きなサクラノボのストラップ) 「ずっと作りたいかったので、かわいい作品が作れてよかった。」(青山:春のハーバリウム) 「スポンジにデコレーションするのがとても楽しかった。」(ルーム:親子で楽しいお菓子作り)</p>

<p>利用者からの 要望・苦情と 対応・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・「コートブラシの1本が破損している。」(北青) ⇒連絡を受け、すぐに修繕対応しました。(後にお礼の言葉あり)・「研修室のパーティションが固定できない。」(東青) ⇒状態を確認後、至急業者にて修繕対応しました。・「部屋に虫の死骸がありました。」(青山) ⇒職員で至急対応し、その後は毎朝職員巡回時に清掃しました。・「体育室が大変暑いので、改善をお願いしたい。」(ルーム) ⇒扇風機を設置しておりますが、熱気が逃げないので、換気扇の設置を検討しております。
------------------------------------	---

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【青少年会館】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
Ⅰ 公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	A	A	A
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ざふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(3)個人情報を保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
Ⅱ 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	S	S
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	A
		(3)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	S
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	S	S	S
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
Ⅲ 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	S	S	S
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(3)管理経費削減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(4)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

IV 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(2)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	S	S	S
		(3)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	A	A	A
		(4)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(5)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	C	C	C
		(6)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	S	S	S
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

(I-2)

情報提供の方策

- ・**《新規》岐阜市青少年会館のSNS(ツイッター)ページを作成し、公開しました。**
青年の利用促進を図るため、自主学習場所の提供や高校部活動引退後の活動場所として利用できることを発信し、詳細についてはホームページへの誘導を行っています。
- ・**《新規》長森中学校区児童生徒を育てる連絡協議会に出席し、『「居場所づくり」(子ども・若者見守り)事業』のチラシを配布、事業内容の説明を行い、取り組みをPRしました。**
- ・**《拡大》施設の近隣小中学校に加え、新たに高校、専門学校の1年生に学習ルームの利用案内チラシを配布し、利用促進を図りました。**
- ・**《新規》少年講座の参加拡大をねらい、小学校へのチラシ配布時にチラシを配布する担任の先生向けに受講を促す協力をお願い文書を配布しました。**
- ・**《新規》「学生ボラネット」に登録し、少年講座などのボランティア支援を呼びかけました。**
- ・長森コミセンだよりに、利用促進・事業案内を掲載しました。
- ・「長森かわら版」・中日ホームニュース「どまんなか」に、講座の取材や記事を提供し紹介されました。

(I-3)

情報の管理

- ・**《充実》教育相談記録簿の見直しを行いました。**
 - ①見やすく、不要な個人情報を取得しないように、記録簿の内容を変更しました。
 - ②記録簿は館長が厳重に管理し、鍵がかかる場所で保管しています。
 - ③不要になった記録簿はシュレッダーで裁断破棄しています
- ・**《新規》SNSを活用した広報活動や情報発信力の拡大に取り組むにあたり、情報セキュリティ事故に対する予防策を講じるため、「情報セキュリティポリシー」「SNS等運用指針」「SNS運用方針」を策定し、令和元年6月18日から開設している青少年会館のツイッターの運用には「SNS等利用チェックシート」を活用して情報発信を行っております。**
- ・**個人情報保護研修会を4月に担当者向け、6月に施設長向けと2回開催し、重要性の認識を徹底しました。また、6月の研修会では、電子メールに関する危険性についても研修し、個人情報流出防止を徹底しました。**

(II-1)

講座事業

【指定事業】

- ・**《拡大》青年講座の拡大を図り、上半期に2講座開催しました。事業満足度は100%と非常に高い評価をいただきました。**

【自主事業】

- ・**《新規》「サンデーおもしろ教室」(ルーム)を岐阜キラメキ講座の一つとして開催しました。教員OBの専門教科を活かし、「算数」「図工」「理科」について、学びの面白さを体験する講座に31人の小学5・6年生が参加しました。**
- ・岐阜キラメキ講座、親子わくわく講座、春講座を計53講座開催(昨年度上半期比較12講座増加)しました。

相談事業

- ・**《拡充》主に青少年とその保護者を対象とした教育相談は、上半期で122件(対前年度30件増)の相談があり、教員OBの専門性を活かした助言・対応を行いました。**

【一例】 青少年ルームで開催した「サンデーおもしろ教室 図工」に参加した児童の両親から不登校傾向に関する相談を受け、面談を実施しました。その後、「サマースクール」に児童と母親が参加し、児童本人と共に2回目の面談を実施したところ、具体的な悩みを聴くことができ、今後の対応方法や学校での相談方法の助言を行うことができました。また、学校への連絡も行いました。

学習拠点事業

- ・空き部屋を学習ルームとして開放し、上半期で3,024人(対前年度77人減)の利用がありました。
- ・**「サタデースクール」(東青)として小学生に学習支援を行いました。上半期で173人(対前年度34人増)の利用がありました。**
- ・**《新規》「読書感想文教室」を、8月の「サタデースクール」として2日間開催したところ、36人の参加があり、大変好評でした。今後もニーズを取り入れた事業展開を行ってまいります。**
- ・**《新規》「サマースクール」(ルーム)を開催しました。小学5年生から中学3年生を対象に、夏休み期間中の火曜日午前中に5日間開催し、延べ46人の参加がありました。教員OBの職員が宿題や読書感想文などの相談に乗り、息抜きには卓球をしてリフレッシュするなど充実した時間を過ごすことができました。**

活動拠点支援事業

・「子ども会サポートプラン」では、上半期に52件(対前年度3件減)の相談に対応しました。うち、18団体497人(対前年度同件、5人増)が活動を行い、うち、7団体143人が青少年会館を利用して活動を実施しました。親切丁寧な説明や魅力的な活動メニューを紹介し、さらに、ホームページでのダウンロードやリーフレットを全単位子ども会や、ブロック子ども会に配布(898部)し、情報発信に努めております。

連携事業

・〈充実〉中央青少年会館若者チャレンジアップ講座「なんでも知りたいことやりたいこと自分から」を全職員が受講し、若者支援に関するスキルアップを図りました。学んだ内容については、各館で共有し、若者支援相談事業の充実を図っております。
・〈新規〉中央青少年会館地域貢献スキルアップ講座「高齢者との交流」「FC岐阜の試合運営を体験しよう」に、各館の職員がスタッフとして協力しました。参加した中高生とも積極的に関わり、教員など個々のスキルを活かした事業協力を行いました。

地域ネットワーク

・地域における中学校区で形成される児童生徒を育てる連絡協議会や、岐阜市子ども会連合会の会長会及びブロック会、青少年育成市民会議のブロックごとの総会などに参加し、子ども・若者の見守り運動や地域ボランティア活動を推進しました。また、青少年会館の利用のPRや、相談業務などの事業紹介を行い、地域におけるネットワークに参加し、支援活動を行いました。

(II-3)

施設利用のプロモーション

・〈新規〉岐阜市青少年会館のSNS(ツイッター)ページを作成し、公開しました。

青年の利用促進を図るため、自主学习場所の提供や高校部活動引退後の活動場所として利用できることを発信し、詳細についてはホームページへの誘導を行っています。

・〈新規〉「中学校区児童生徒を育てる連絡協議会」に出席し、「居場所づくり」(子ども・若者見守り)事業にチラシを配布、事業内容の説明を行い、取り組みをPRしました。

・〈新規〉「中学校区児童生徒を育てる連絡協議会」に出席の際、中学生のボランティア受け入れについて中学校長と館長が協議し、少年講座の活動補助として受け入れる協力体制を構築しました。すぐにチラシを配布し、2名の中学生に活躍していただきました。

・〈新規〉少年講座の参加拡大をねらい、小学校へのチラシ配布時にチラシを配布する担任の先生向けに受講を促す協力をお願い文書を配布しました。

・〈新規〉子どもと関わる大学生ボランティアを受け入れる体制を構築しました。

①施設の周辺大学へ青少年会館の利用啓発チラシを配布し、その裏面に「子どもと関わるボランティア募集」として参加を呼びかけました。

②「ぎふ学生ボランティア・地域活動ネットワーク推進協議会(学生ボラネット)」が実施するボランティア募集情報事業へ登録しました。

・〈新規〉長森地区で不登校の中学生に学習支援を行っている団体「長森学習の家」へ、青少年会館の利用を案内したところ、定期的に東青少年会館を利用していただけるようになりました。毎月2～4回ほどの利用があり、上半期では16回の利用がありました。

・施設の近隣中学校、高校、専門学校の1年生に学習ルームの利用案内チラシを配布し、利用促進を図りました。

・長森コミセンだよりに、利用促進・事業案内を掲載しました。

・「長森かわら版」・中日ホームニュース「どまんなか」に、講座の取材や記事を提供し紹介されました。

・「子ども会サポートプラン」では、上半期に52件(対前年度3件減)の相談に対応しました。うち、18団体497人(対前年度同件、5人増)が活動を行い、うち、7団体143人が青少年会館を利用して活動を実施しました。親切丁寧な説明や魅力的な活動メニューを紹介し、さらに、ホームページでのダウンロードやリーフレットを全単位子ども会(898部)に配布し、情報発信に努めております。

施設設備の整備・充実

利用者からの声を受け、サービスの向上を図りました。

・〈新規〉学習ルーム利用者からの声を受け、職員手作りの消しゴムカス入れ(広告紙で折り紙)を利用者にお渡しするサービスを実施しました。

・〈新規〉研修室利用者からの声を受け、ホワイトボード用マーカーとイレイサーを職員手作りのケースに入れてお渡しするように改善しました。

・〈新規〉北青少年会館の駐輪場の枠線が狭く、自転車が停めにくいとの声を受け、職員によるペンキの塗りなおしを行いました。

・〈新規〉北青少年会館の駐車場に段差があり、停めにくく、アクセルの踏み込みすぎによる事故を防止するため、職員で修繕を行いました。

・〈新規〉青少年ルームの男子トイレ小便器フラッシュバルブを職員で取り替えました。

広報活動

- ・**《新規》SNS(ツイッター)のページを開設しました。**主に高校生を中心とする青年層に施設の紹介や利用方法を発信し、自主学習スペースや高校部活動卒業後の活動スペースの利用を提案しています。詳細情報についてはホームページへの誘導を行っています。
- ・**《新規》**少年講座等のチラシを小学校児童に配布する際、実際に配布していただける担任の先生向けに、**講座への参加を呼び掛けていただけるようお願い文書を同封し**協力をお願いしました。
- ・**《新規》**「長森中学校区児童・生徒を育てる連絡協議会」へ東青少年会館館長が出席し、『**「居場所づくり」(子ども・若者見守り)事業**』のチラシを配布・説明を行い、周知・理解・協力を呼びかけました。
- ・**《新規》**岐阜東中学校、岐阜東高校、富田高校、岐阜県立衛生専門学校**の1年生に青少年会館の学習ルームについてのチラシを配布**(710枚)し、利用を呼びかけました。
- ・東部コミセンだよりに東青少年会館事業の記事を掲載し、利用促進を図りました。
- ・「長森かわら版」に講座の様子と受講の呼びかけの記事を寄稿し、また、中日ホームニュース「どまんなか」では、講座の様子を取材していただき、広報いたしました。

青年層の利用拡大

- ・**《拡大》青年対象事業**について、上半期は2講座開催し10人の参加がありました。
「ラインストーンとライトブルーパールネックレス」(東青)「アロマde母の日」(北青)を開催し、10名の参加があり事業満足度は100%(大変満足と満足の合計)と非常に高い評価をいただきました。
- ・**《新規》 SNS(ツイッター)のページを開設しました。**主に高校生を中心とする青年層に施設の紹介や利用方法を発信し、自主学習スペースや高校部活動卒業後の活動スペースの利用を提案しています。詳細情報についてはホームページへの誘導を行っています。
- ・**《新規》**岐阜東中学校、岐阜東高校、富田高校、岐阜県立衛生専門学校**の1年生に青少年会館の学習ルームについてのチラシを配布**(710枚)し、利用を呼びかけました。

春講座の実施

- ・**《拡大》**自主事業として、**12講座(対前年度4講座増)開催**し、193人の参加がありました。

「セルフスタディサポート」の実施

自主学習の支援として、会館の空き部屋を小中高生の学習ルームとして開放し、また、「サタデースクール」「サマースクール」では教員OBが小学生の学習支援を行うことで、青少年の学びの支援を行っています。

- ・**学習ルームの上半期利用者は3,024人(77人減)**
 - ・「サタデースクール」(東青)の上半期利用者は173人(34人増)
 - ・**《新規》**「サマースクール」(ルーム)の参加者は5日間で46人
- ・**《新規》**「読書感想文教室」を、8月の「サタデースクール」として、2日間(3日・10日)開催したところ、36名の参加があり、大変好評でした。今後もニーズを取り入れた事業展開を図ってまいります。
- ・**《新規》**「サマースクール」(ルーム)として、小学5年生から中学3年生を対象に、**夏休み期間中の火曜日の午前中に学習ルームの開放を実施**しました。(5日間延べ46人参加)教員OB職員が宿題や読書感想文などのわからないところの相談を行いました。
- ・**《新規》**学習ルーム利用者からの声を受け、職員手作り(広告紙を利用した折り紙)の消しゴムカス入れを利用者にお渡しするサービスを実施しています。

子ども会サポートプランの充実

- ・「**子ども会サポートプラン**」では、上半期に52件(対前年度3件減)の相談に対応しました。そのうち、18団体497人(対前年度同件、5人増)が活動を行い、うち、7団体143人が**青少年会館を利用して活動を実施**しました。

親切丁寧な説明や魅力的な活動メニューを紹介し、さらに、ホームページでのダウンロードやリーフレットを**全単位子ども会やブロック子ども会に配布(898部)**することで、利用促進・情報発信を図っております。

(II-6)

職員の専門性やスキルを活用

・<新規>中央青少年会館地域貢献スキルアップ講座「高齢者との交流」「FC岐阜の試合運営を体験しよう」には、各館の職員がスタッフとして協力しました。参加した中高生とも積極的にかかわり、教員など個々のスキルを活かした事業協力を行いました。

・「サタデースクール」(東青)は教員OBが小学生に学習支援を行い、上半期で173人(対前年度34人増)の利用がありました。

・<新規>「読書感想文教室」を、8月の「サタデースクール」として2日間(3日・10日)開催したところ、36名の参加があり、大変好評でした。

・<新規>「サマースクール」(ルーム)として、小学5年生から中学3年生を対象に、夏休み期間中の火曜日の午前中に学習ルームの開放を実施しました。(5日間延べ46人参加)教員OB職員が宿題や読書感想文などのわからないところの相談を行い、息抜きに卓球を楽しみました。知らない子同士で卓球をする姿も見られ、教育相談(※1)も実施しました。

・<新規>「サンデーおもしろ教室」(ルーム)は教員OB職員の専門教科を活かし、小学5・6年生を対象に「学びの面白さを体験する」ことを目的に開催しました。教育相談(※1)も実施しました。

「算数」(6月30日(日)9:30~11:30)15人

「図工」(7月14日(日)9:30~11:30)7人

「理科」(8月4日(日)9:30~11:30)9人

受講者アンケートからは、満足度97%(ふつう3%・1件)、「わかる(学習する)ことの楽しさを知った」といった感想が多く、今後、継続的な開催を視野に検討していきます。

※1 「サンデーおもしろ教室 図工(7月14日)」に親子で参加した児童の両親から、不登校傾向に関する相談を受け、面談を実施しました。両親への助言を行い、7月23日開催のサマースクールにて2回目の面談を児童と母親に実施しました。具体的な話を聞いたことで、今後の対応方法や相談手順などを助言しました。学校への連絡も行いました。

このように、青少年の学びの支援を積極的に行っています。

職員のスキルアップ

・(充実)若者支援対策として、中央青少年会館若者チャレンジアップ講座「なんでも知りたいことやりたいこと自分から」を全職員が受講し、若者への支援に関するスキルアップを図りました。学んだ内容については各館で共有し、若者支援相談機能の充実を行っております。

今期の取り組み
に対する評価

(III-1)

コストをかけるサービスの優先順位

・利用者の要望に最大限こたえるため、限られた予算の中で計画的な予算執行に努めました。

(具体例)

①消防設備取替(誘導灯バッテリー)修繕(北青少年会館)・・・安全対策

⇒ 安全性向上

②研修室1・2間仕切りスライディングドア修繕(東青少年会館)・・・設備保全

⇒ 利用者より感謝の声あり

③ピアノ調律(青山青少年会館)・・・環境整備

⇒ サービス向上

コストをかけないサービスの向上

職員のスキルや努力・工夫により、サービス向上を図りました。

・<新規>学習ルーム利用者からの声を受け、職員手作りの消しゴムカス入れを利用者にお渡しするサービスを実施しました。

・<新規>研修室利用者からの声を受け、ホワイトボードマーカーとイレイサーを、手作りのケースに入れてお渡しするよう改善いたしました。

・<新規>駐輪場の枠線が狭く、自転車を停めにくいとの声を受け、職員によるペンキの塗りなおしを実施し、枠線を取り、奥から停めやすくなるなどの工夫をしました。

・<新規>北青の駐車場に段差があり、停めにくく、アクセルの踏み込みすぎによる事故を防止するため、職員が段差を削り、利用しやすいように修繕しました。利用者からは大変喜ばれております。

・<新規>ルームの男子トイレ小便器の水が止まらなくなっており、職員でバルブの交換を行ったところ、止水することができました。

・<継続>北青少年会館のテニスコートの面ならし、入り口のアスファルト敷きや周辺の草刈りを会館職員で実施しました。

・<継続>青山青少年会館の談話室書箱に地域の方により使わなくなった絵本・児童書追加し、和室1・和室2に本棚を増設し、マンガを追加して豊で気楽に読書できるようにしました。

・<継続>東青少年会館の談話室に寄贈図書をロッカーに入れ自由に読めるようにしました。他、百人一首と基石も入れました。

・<継続>北・青山・青少年ルームの会館周辺の樹木の剪定や清掃を会館職員で行いました。

・<継続>4館ともに、日常清掃を職員で行いました。

自主事業の実施と他施設連携講師によるサービス向上

・事業団自主財源による自主事業を実施しています。

(春講座 岐阜キラメキ講座・親子わくわく講座 53講座 参加者841名)

・事業団管理施設間の事業協力により、講座講師を事業団職員が務めることで経費を抑えて事業を実施し、市民へのサービス向上を図っております。(夏期講座では1講座 7,000円の縮減)

(Ⅲ－(3))

職員講師による講座の実施

・事業団管理施設間の事業協力により、**講座講師を事業団職員が務めることで経費を抑えて事業を実施**し、市民へのサービス向上を図っております。

- ・夏期少年講座(東)「自然素材で作る虫たち」(自然の家職員)
- ・**《新規》教員OB職員の専門性を活かし、「読書感想文教室」を8月のサタデースクールとして、2日間(3日・10日)開催**したところ、36名の参加がありました。
- ・**《新規》教員OB職員が講師を務める「サマースクール」(ルーム)を開催**しました。小学5年生から中学3年生を対象に、夏休み期間中の火曜日の午前中に学習ルームの開放を実施しました。(5日間延べ46人参加)
- ・**《新規》教員OB職員が講師を務める「サンデーおもしろ教室」(ルーム)を開催**しました。教員OB職員の専門教科を活かし、小学5・6年生を対象に「学びの面白さを体験する」ことを目的に開催しました。

職員による施設点検・整備や補修

職員のスキルや努力・工夫で、最小限の経費でサービス向上を図りました。

- ・**《新規》**学習ルーム利用者からの声を受け、職員手作りの消しゴムカス入れを利用者にお渡しするサービスを実施しました。
- ・**《新規》**研修室利用者からの声を受け、ホワイトボードマーカーとイレイサーを、手作りのケースに入れてお渡しするよう改善いたしました。
- ・**《新規》**駐輪場の枠線が狭く、自転車を停めにくいとの声を受け、職員によるペンキの塗りなおしを実施し、枠線を取り、奥から停めやすくするなどの工夫をしました。
- ・**《新規》**北青の駐車場に段差があり、停めにくく、アクセルの踏み込みすぎによる事故を防止するため、職員が段差を削り、利用しやすいように修繕しました。利用者からは大変喜ばれております。
- ・**《新規》**ルームの男子トイレ小便器の水が止まらなくなっており、職員でバルブの交換を行ったところ、止水することができました。
- ・**《継続》**北青少年会館のテニスコートの面ならし、入り口のアスファルト敷きや周辺の草刈りを会館職員で実施しました。
- ・**《継続》**青山青少年会館の談話室書箱に地域の方により使わなくなった絵本・児童書追加し、和室1・和室2に本棚を増設し、マンガを追加して畳で気楽に読書できるようにしました。
- ・**《継続》**東青少年会館の談話室に寄贈図書ロッカーに入れ自由に読めるようにしました。他、百人一首と碁石も入れました。
- ・**《継続》**北・青山・青少年ルームの会館周辺の樹木の剪定や清掃を会館職員で行いました。
- ・**《継続》**4館ともに、日常清掃を職員で行いました。

(Ⅳ－(2))

職員の専門性を活かした事業展開

・**《新規》教員OB職員の専門性を活かし、「読書感想文教室」を8月のサタデースクールにおいて、2日間(3日・10日)開催**したところ、36名の参加があり、大変好評でした。今後もニーズを取り入れた事業展開を図ってまいります。

- ・**《新規》教員OB職員が講師を務める「サマースクール」(ルーム)を開催**しました。小学5年生から中学3年生を対象に、夏休み期間中の火曜日の午前中に学習ルームの開放を実施しました。(5日間延べ46人参加)
- ・**《新規》教員OB職員が講師を務める「サンデーおもしろ教室」(ルーム)を開催**しました。教員OB職員の専門教科を活かし、小学5・6年生を対象に「学びの面白さを体験する」ことを目的に開催しました。
- ・**《新規》中央青少年会館地域貢献スキルアップ講座「高齢者との交流」「FC岐阜の試合運営を体験しよう」**には、各館の職員がスタッフとして協力しました。参加した中高生とも積極的にかかわり、教員など個々のスキルを活かした事業協力を行いました。

・教育相談の実施

(一例)

◆「サンデーおもしろ教室 図工(7月14日)」に親子で参加した児童の両親から、不登校傾向に関する相談を受け、面談を実施しました。両親への助言を行い、7月23日開催のサマースクールにて2回目の面談を児童と母親に実施しました。具体的な話を聞いたことで、今後の対応方法や相談手順などを助言しました。学校への連絡も行いました。

◆昨年度に引き続き、教員志望の青年から相談を受け、採用試験の面接練習をするなど助言を行いました。

◆シニアリーダークラブの卒業生の一部は就職後もたびたび青少年会館を訪れていただけです。赴任先の学校や幼稚園での苦労や悩みを聞き、教員OBとしての助言を行っております。

(V-1)

地元団体の育成

・**《新規》「中学校区児童・生徒を育てる連絡協議会」**へ青少年会館館長が出席し、地域の青少年の健全育成に協力しています。青少年会館では、『**「居場所づくり」(子ども・若者見守り)事業**』に取り組んでいることのチラシを配布・説明を行い、周知・理解・協力を呼びかけました。

・**《新規》「中学校区児童・生徒を育てる連絡協議会」**で、中学生のボランティア受け入れについて、中学校長と館長が協議し、少年講座開催時の活動を補助していただけるよう、チラシを配布したところ、2名の中学生がボランティア参加していただきました。

・**《新規》ボランティア活動を希望する大学生に対し、子どもと関わる体験を提供**するため、受け入れ態勢の構築と募集を行いました。

①**施設の周辺大学**へ青少年会館の利用啓発チラシの裏面に「**子どもと関わるボランティア募集**」を記載し、参加を呼びかけました。

②**「ぎふ学生ボランティア・地域活動ネットワーク推進協議会(学生ボラネット)」**が実施する**ボランティア募集情報事業**へ登録しました。

・シニアリーダークラブの卒業生の一部は就職後もたびたび青少年会館を訪れていただけます。赴任先の学校や幼稚園での苦勞や悩みを聴き、教員OBとしての助言を行っております。

・**《新規》長森地区で不登校の中学生に学習支援**を行っている団体「**長森学習の家**」へ、青少年会館の利用を案内したところ、定期的に利用していただけるようになりました。毎月2～4回ほどの利用があり、上半期では16回の利用がありました。

地域ネットワーク

・**地域における中学校区で形成される児童生徒を育てる連絡協議会や、岐阜市子ども会連合会の会長会及びブロック会、青少年育成市民会議のブロックごとの総会などに参加し、子ども・若者の見守り運動や地域ボランティア活動を推進**しました。また、青少年会館の利用のPRや、相談業務などの事業紹介を行い、地域におけるネットワークに参加し、支援活動を行いました。

子ども会サポートプラン

・**「子ども会サポートプラン」**では、上半期に52件(対前年度3件減)の相談に対応しました。そのうち、18団体497人(対前年度同件、5人増)が活動を行い、うち、7団体143人が青少年会館を利用してして活動を実施しました。

親切丁寧な説明や魅力的な活動メニューを紹介し、さらに、ホームページでのダウンロードやリーフレットを全単位子ども会(898部)に配布し、子ども会活動を応援しています。

前回までの意見を踏まえた取組み状況

○所管課の意見

(評価と今後の方針について)

青年層の取り込みに向けた努力

・青少年会館運営委員会において指摘された青年層の取り込みについて考え、現代の需要にあった講座を開設し、近隣の企業へも周知する等、熱心な広報活動は評価できる。ただし、ニーズはどんどん変化するため、今後も内容について、参加者や青年の声を取り入れながら進めてほしい。

(Ⅰ-(2)、Ⅱ-(1)(3)(4)(6)、Ⅴ-(1))

⇒青年への学びの提供や若者への支援、現代における情報発信力の充実など、下記の事項に取り組みました。

・青年講座を2講座開催しました。今年度は計4講座を計画しております。(昨年度は下半期に2講座)

・受講者アンケートの満足度は100%でした。来年度は物作り以外の講座を計画しております。

・子どもと関わるボランティアを希望する大学生に活動の機会を提供するため、下記の事項を行いました。

・大学へ直接、大学生ボランティア募集のチラシを配布しました。

・「ぎふ学生ボランティア・地域活動ネットワーク推進協議会」に登録しました。

・青少年や若者への相談業務事業の充実を図るため、若者チャレンジアップ講座に全職員が参加し、学んだことを施設で共有することで、職員のスキルアップを行いました。

・現代における青年層への情報発信力を高めるため、青少年会館のSNS(ツイッター)を開設し、利用の案内や提案を行っております。

若者相談支援の推進

・若者支援対策の一環として、会館職員の人数を考慮しながらも、できるだけ相談にのれるような体制を推進してほしいとの声を受け、東青少年会館にて熱心な取り組みがあった。これには一定の評価ができるが、この取り組みが他会館へ広まることを期待する。

(Ⅱ-(1))

⇒青年に対する相談事業の実績は、東青少年会館が顕著ではありますが、他の会館においても中学生や高校生からの学習や学校生活での悩みなどに対応しております。今年度は、若者の自立支援にかかわる相談などにも適切に対応できるスキルを身に付けるため、若者チャレンジアップ講座に全職員が参加し、その知識を各施設で共有しました。さらなる相談業務の充実を図るため、対応能力の向上や体制の構築に取り組んでまいります。

○評価委員会の意見

・セルフスタディサポート、特にサンデースクールの改善に期待する。

(Ⅱ-(1))

⇒学習ルームの利用者は上半期で4館合計3,024人です。ご指摘のサンデースクールは、クラブ活動や部活動がある日曜日の開催により利用者がなく、継続を断念しました。利用者のニーズに沿った事業を展開するため、新たなセルフスタディサポートの拡大策として、下記の新規事業の開催やサービス向上の取り組みを実施しました。

・「読書感想文教室」を8月の「サタデースクール」として2日間開催し、36人の参加がありました。

・夏休みの学習を支援するため、「サマースクール」(ルーム)を5日間開催し46人の参加がありました。

・自主学習の環境整備として鉛筆削りや下敷きの貸し出しなどを行ってきましたが、利用者からの声を受け、職員が広告紙を利用し、折り紙で作成した「消しゴムカス入れ」をお渡ししております。

・SNSを活用し、学習ルームの利用案内を発信しました。

今後もニーズを取り入れた事業展開を行ってまいります。

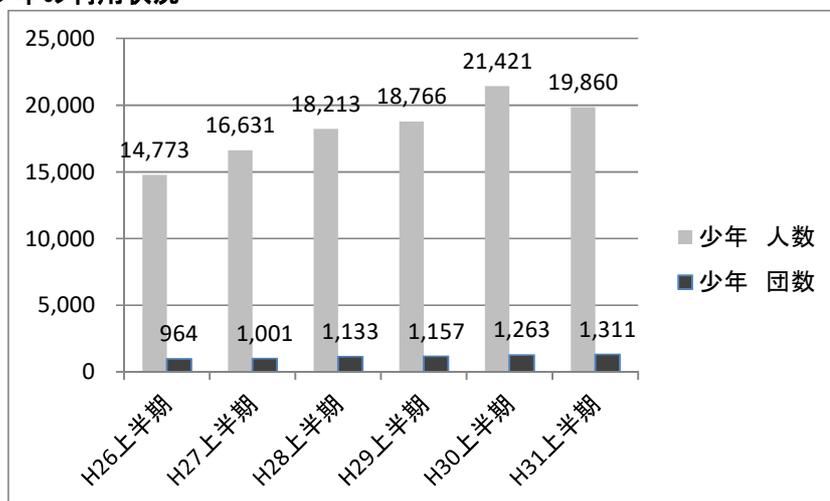
今後の取組み	<p>(Ⅱ-1)(3)(4)</p> <ul style="list-style-type: none">・現代のニーズを踏まえた「青年講座」とするため、内容を見直し、青年事業の拡大を図ります。 <p>(Ⅱ-4)</p> <ul style="list-style-type: none">・青年層への利用拡大を図ります。 <p>(Ⅴ-1)</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の子ども会活動の活性化を目的として「子ども会サポートプラン」をさらに充実させます。 <p>(Ⅰ-1)(Ⅴ-5)</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもや若者が気軽に利用できる身近な「居場所」としての機能が果たせるよう、職員のスキルアップと施設の環境整備に努めます。
--------	---

●所管課の意見

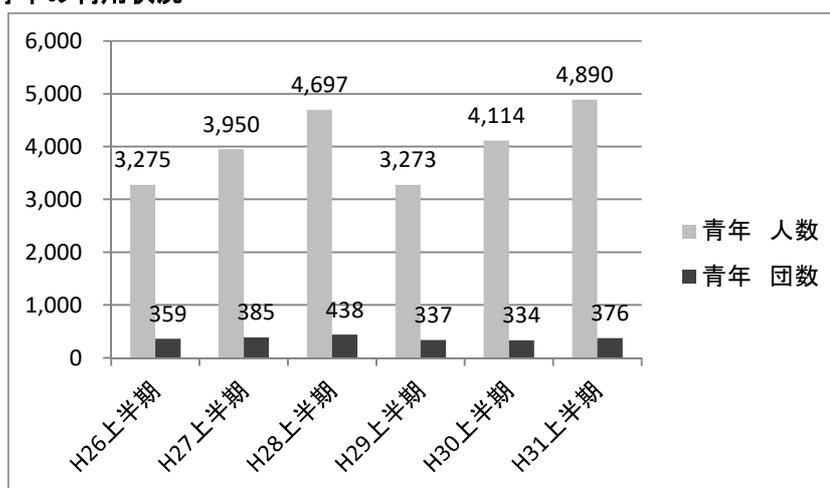
○ 利用者の増減について

	H26上半期	H27上半期	H28上半期	H29上半期	H30上半期	H31上半期	対前年度比	
少年 人数	14,773	16,631	18,213	18,766	21,421	19,860	-1,561	7% ↓
少年 団数	964	1,001	1,133	1,157	1,263	1,311	48	19% ↑
青年 人数	3,275	3,950	4,697	3,273	4,114	4,890	776	4% ↑
青年 団数	359	385	438	337	334	376	42	13% ↑
合計 人数	18,048	20,581	22,910	22,039	25,535	24,750	-785	3% ↓
合計 団数	1,323	1,386	1,571	1,494	1,597	1,687	90	6% ↑

少年の利用状況



青年の利用状況



○ 評価と今後の方針について

【1 特に評価すること】

(1) 広報の方策

普段関わりのない会合にも積極的に出席する、SNSを活用する等、多角的に精力的な広報活動を展開しており、青少年利用数の増加に期待ができる。

(2) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容

「サンデーおもしろ教室」、「読書感想文教室」、「サマースクール」のような、これまでの講座とは異なった教室を実施し、青少年の新たな居場所として会館利用につながったことは評価できる。

(3) 能力を活用した経費削減及びサービスの向上

職員の能力を活かした講座の開催や職員OBが専門教科の教室を開催することで、限られた予算の中でサービス向上につなげている点は評価できる。

【2 改善を求めること】

青少年ルームで起きた事案を例に、全職員が危機管理意識を持つとともに、異動時期等には継続的に研修を行う等、再発防止に努めてほしい。

● 指定管理者評価委員会の意見

○青少年ルームは複合施設であるため、今後とも両事務局で話し合い、協力して使用することが重要である。また、施設が足りないという声をよく聞くが、放課後子ども教室が実施されることにより、一般利用者にしわ寄せがないか注視する必要がある。

○青少年ルームで起きた事案について、シフトや休館日のズレがあるとはいえ、報告は遅滞なく行わなければならない。IHコンロに切り替える等、改善していることは認めるが、危機管理意識を持つようにしてほしい。

○その他については、所管課の意見と同様。